

2021年8月25日

各位

会社名 株式会社 アスタリスク

代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木 規之

(コード番号：6522 東証マザーズ)

問合せ先 取締役執行役員 管理統括室長 石田 泰一

(TEL. 050-5838-7864)

2021年8月期の業績予想について

2021年8月期（2020年9月1日から2021年8月31日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項目	決算期		2021年8月期 (予想)			2021年8月期 第3四半期累計 期間 (実績)		2020年8月期 (実績)	
	売上	高	対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売上	1,746		100.0	24.9	1,468	100.0	1,398	100.0	
営業利益	223		12.8	98.9	284	19.4	112	8.0	
経常利益	223		12.8	120.4	286	19.5	101	7.3	
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	172		9.9	150.4	220	15.0	68	4.9	
1株当たり当期（四半期）純利益	134円90銭				172円59銭		53円88銭		
1株当たり配当金	0円00銭				—		0円00銭		

- (注) 1. 2021年8月期（予想）は、2021年6月までの実績に、2021年7月、8月の見通しを踏まえて、2021年7月に予想したものとなります。
2. 2020年8月期（実績）及び2021年8月期第3四半期累計期間（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。2021年8月期（予想）の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月25日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積り、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

【2021年8月期業績予想（連結）の前提条件】

1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、当社（株式会社アスタリスク）と海外子会社3社により構成されております。当社グループは「モノ認識」と「モバイル」を軸とした事業展開を行っております。独自の自動認識技術の研究開発を行い、画像認識技術やバーコードリーダー、RFIDリーダーから、各業態の基幹システムや業務アプリケーションの運用まで一気通貫でハードウェアとソリューションパッケージを提供し、デジタル技術を活用して省力化や効率化を図るスマートファクトリーやスマートストアといった、様々な業態のスマート化を推進しております。

当社グループの事業は、自動認識技術を使った製品・サービスの開発・販売を行うAsReader事業と、ハードウェアやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせてユーザーにとって利便性の高いシステムを構築し、提供するシステムインテグレーション事業で構成されております。

2021年8月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済の先行きが不透明な状況下において、業務のスマート化を推進する動きが加速したこともあり、当社主力製品であるAsReaderの需要は大きく増加し、物流業界、小売業界、自動販売機業界、医療業界を中心に販売が伸びております。

その結果、当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高は1,468百万円、営業利益は284百万円、経常利益は286百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は220百万円となりました。

当社グループの2021年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の蔓延による営業活動の制限や、世界経済の低迷など市場環境の悪化はあったものの、オンライン等による営業活動などの対策を迅速に実施したことや、業務のスマート化のための当社製品に対する市場のニーズが高まったことなども追い風となり、売上高1,746百万円（前期比24.9%増）、営業利益223百万円（前期比98.9%増）、経常利益223百万円（前期比120.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益172百万円（前期比150.4%増）と増収、増益を見込んでいます。

なお、当連結会計年度は大型の案件が上期に集中したことにより、下期は上期に比べて低い利益水準となっております。特に2021年8月期第4四半期会計期間は大型案件の納入予定がないことや、上場のための費用を期末に見込んでいること等もあり、利益は低い水準となる見込みです。

なお、当該業績予想数値は、2020年9月から2021年6月までの実績数値に、2021年7月以降の予測数値を合算して策定した数値となっております。

2. 項目別の見通し

(1) 売上高

売上高は、具体的な案件に基づき、案件別に製品販売数量、売値を想定し、市場特性や商談の状況を踏まえて実現の可能性を見極め、売上計画を作成しております。具体的な案件については、さらにその獲得確度により案件を選別し、「既に得意先側の社内稟議決裁が済んでいる案件、得意先の担当者から社内稟議は未決裁ながらも内諾を得ている案件」については「堅い案件」とし、売上計画にすべて計上することとしております。これらの段階に至っていない案件については、得意先の担当者から具体的な投資計画としてニーズを確認しているもののうち、その内容（当社が有利な分野かなど）や競合の有無、当該得意先との過去の実績などから、当社の獲得が見込まれるものを売上計画に計上しております。また、具体的な案件に基づかない新規案件の売上計画については、販売対象となる業界別に、過去の実績や現在の潜在顧客リストから、販売が見込まれる数量を見積り、売上計画に計上しております。

2021年8月期第3四半期累計期間の売上高実績は、国内で医療業界、アパレル業界、物流業界、小売業界、自動販売機業界など、米国・欧州では、畜産業界など、大型案件の成約が進みました。2021年8月期第4四半期会計期間につきましては、成約済みまたは商談の最終段階にある案件の積み上げにより作成しています。

計画した案件の獲得・販売が順調に進んでおり、結果として、2021年8月期第3四半期累計期間の連結売上高は1,468百万円となっております。2021年8月期通期の連結売上高は1,746百万円（前期比24.9%増）を見込んでおります。

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月25日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積り、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

<AsReader 事業>

AsReader 事業の売上高は、当社製品 AsReader シリーズの売上高、保守売上高、アプリライセンス売上高で構成されています。それぞれの売上高は、前述のとおり、具体的な案件別に製品販売数量、売値を想定して、市場特性や商談の状況を踏まえて実現の可能性を見極めて作成しております。

(単位：百万円)

決算期 項目	2021年8月期 (予想)	2021年8月期 第3四半期累計 期間(実績)	2020年8月期 (実績)
AsReader シリーズ	1,224	1,042	883
保守	197	167	178
アプリライセンス	8	5	11

- 1 AsReader シリーズの売上高は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、業務のスマート化を求める企業からのニーズにマッチした製品として、物流業界、小売業界、医療業界を中心に導入が促進され、2021年8月期は、2020年8月期を上回る結果となる見込みです。販売台数は実績ベースで、2020年8月期の16,860台に対して、2021年8月期第3四半期累計期間は26,424台となりました。

計画した案件が順調に進捗していることもあり、2021年8月期第3四半期累計期間の連結業績におけるAsReader シリーズ売上高は1,042百万円となりました。2021年8月期通期の連結業績におけるAsReader シリーズの売上高は1,224百万円(前期比38.6%増)を見込んでおります。

- 2 保守売上高は、AsReader シリーズを導入した企業に対する長期サポートサービスのAsReaderCare 売上が中心となっております。現在、ほとんどの導入企業に対して一定期間の無償メーカー保証を付保しておりますが、万が一の備えとしてのAsReaderCare(有償保証サービス)への加入を各社に提案し、ストックビジネスとして保守売上拡大に注力しています。

保守収益の獲得は順調に進み、2021年8月期第3四半期累計期間の連結業績における保守売上高は167百万円となっております。2021年8月期通期の連結業績における保守売上高は197百万円(前期比10.6%増)を見込んでおります。

- 3 アプリライセンス売上高は、AsReaderApps のライセンス売上です。在庫管理、棚卸、発注、勤怠管理、POSレジ、報告書作成など、業務に関する様々なアプリを開発・提供し、AsReader シリーズと親和性の高いアプリケーションを揃えております。現時点では、既存システムとの連携を選択される導入企業が多くAsReaderApps の導入は進んでいない状況ですが、今後の営業活動においてAsReaderApps を活用した業務改革の提案活動を強化する予定です。

2021年8月期第3四半期累計期間の連結業績におけるアプリライセンス売上高は5百万円、2021年8月期通期の連結業績におけるアプリライセンス売上高は8百万円(前期比27.2%減)を見込んでいます。

上記の結果、AsReader 事業の連結売上高は、2021年8月期第3四半期累計期間では1,215百万円となっております。2021年8月期通期では、1,430百万円(前期比33.3%増)を見込んでおります。

<システムインテグレーション事業>

システムインテグレーション事業は、AsReader シリーズ導入先の業務システムを中心に、「モバイル端末での利用を中心としたアプリケーション」「AsReader によるクラウド型業務システム」などの業務システム

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月25日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

の構築を主力としている事業です。

小売業界向けの一部が6月以降にずれしたことによるマイナス要因はあるものの、アパレル業界向けの受注が順調に進捗したことなどにより、2021年8月期第3四半期累計期間のシステムインテグレーション事業の連結売上高は253百万円となっております。

2021年8月期通期では、店舗向け開発の検収時期が遅れるなどのマイナス要因があり、連結売上高は315百万円（前期比2.9%減）と、昨対でわずかに減収の見通しとなっております。

（2）売上原価、売上総利益

当社グループの売上原価のうち、AsReader 事業について発生する売上原価は製品仕入原価の他、保守業務にかかる労務費や修理部材の購入費であります。製品開発機能は自社内に保有しておりますが、当社グループは、自社に生産設備を持たないファブレスメーカーであり、ハードウェアの生産は海外企業に製造委託するEMS生産となっております。また、金型等の支給による生産委託など、独自製品の拡大に向けた取組みを推進しております。生産委託先の選定・管理については、自社内に生産管理セクションを置き、選定時の委託先現地調査の実施、1年に1回の委託先現地監査を行い、当社グループの求める品質水準と納期を守ることが可能な委託先であるかの判断を行ったうえで、生産委託をすることとしております。仕入単価については、既存製品については現時点の製品単価を、新製品については当該製品の製造に見込まれる原価を過去の実績等を踏まえて計算を行った結果を製品単価としております。

システムインテグレーション事業について発生する売上原価は社内システム開発人員の人件費や、外部委託先への外注費になります。外注先の選定は、①iOS/Web開発の当社グループのニーズに合うか、②十分なりソースを持っているか、③相見積りを実施した上で、単価が妥当か、④進捗管理が十分にできる体制があるか、⑤今までどのような開発を請け負ってきたか、などについて評価を行い、問題が無いと判断した相手先に外注することとしております。

<AsReader 事業>

AsReader 事業の売上原価は、売上計画に織り込んだ販売数量に仕入単価を乗じた金額と保守等にかかる原価を合算して、計画値としております。

小売業界、自動販売機業界、物流業界などへの大型の案件が順調に成約し、2021年8月期第3四半期累計期間のAsReader 事業の売上原価は545百万円となっております。通期においては、674百万円（前期比32.8%増）を見込んでおります。

2021年8月期第3四半期累計期間は、AsReader 事業において自動販売機業界への導入が一気に進んだ赤外線通信リーダーの原価率が従来機器と比較して低かったことが、利益改善に大きく寄与する結果となりました。2021年8月期第3四半期累計期間の売上総利益は669百万円、売上利益率は55.1%となっております。2021年8月期第4四半期会計期間は売上総利益が86百万円と、第3四半期累計期間の実績と比較して小さな利益に留まり、売上利益率は40.0%に下落する見通しです。これは、2021年9月以降に売上計上を見込む飲料メーカー向けなど大型納入を控えて出荷が減少しているタイミングであること、機能を追加して新製品として販売したGUNタイプのAsReaderについて旧タイプ在庫の評価損15百万円を見込んだこと等によるものです。2021年8月期通期の連結業績におけるAsReader 事業の売上総利益は756百万円、売上利益率は52.8%（前期比0.2ポイント増）と見込んでおります。

<システムインテグレーション事業>

システムインテグレーション事業の売上原価は、販売計画の案件に対して、過去の実績等から必要工数を算定し、社内人件費・外注先への委託費等を積み上げて計画としております。

2021年8月期第3四半期累計期間のシステムインテグレーション事業の売上原価は202百万円、売上総利益は50百万円となっております。小売業界、アパレル業界向け案件において原価率が高かったことから、2021年8月期第3四半期累計期間の売上利益率は20.1%にとどまっています。2021年8月期通期の連結業績においては、システムインテグレーション事業の売上原価は246百万円（前期比3.0%増）、売上総利益は68

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月25日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積り、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

百万円（前期比 19.4%減）となり、売上利益率は 21.8%（前期比 4.5 ポイント減）となる見通しです。

以上の結果、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間の連結業績における売上原価は 747 百万円、売上総利益は 720 百万円となっております。2021 年 8 月期通期の連結業績においては、売上原価は 921 百万円（前期比 23.2%増）、売上総利益は 824 百万円（前期比 26.8%増）を見込んでおります。

売上利益率については、売上利益率の高い AsReader 事業の売上高の伸び率が高かったことにより、全社の利益率が向上、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間の連結業績における売上利益率は 49.1%となっております。2021 年 8 月期通期の連結業績における売上利益率は 47.2%（前期比 0.7 ポイント増）を見込んでおります。

事業セグメント別の売上総利益は下表のとおりとなっております。

（単位：百万円）

決算期 セグメント	2021 年 8 月期 (予想)	2021 年 8 月期 第 3 四半期累計 期間 (実績)	2020 年 8 月期 (実績)
AsReader 事業	756	669	564
システムインテグ レーション事業	68	50	85
売上総利益合計	824	720	650

（3）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費の主な内訳は、人件費、支払手数料、研究開発費、販売促進費であります。

人件費は、将来の人員計画に基づき算定しております。当社グループは製品・サービスの拡販、新製品開発のための人材採用を積極的に進めております。2020 年 8 月期末に 88 名であったところ 2021 年 8 月期末において 101 名（前期比 14.8%増）となること、役職手当と賞与支給額の増額を見込んでおり、2021 年 8 月期の人件費は 299 百万円（前期比 27.6%増）となる見通しです。

支払手数料は、主に新規上場に係る費用、特許取得に関する費用、社内業務の外注費用、企業調査費用、出向者人件費がその内訳であり、各項目について計画遂行上発生が見込まれる金額を積み上げて計画を策定しております。新規上場申請費用の計上を見込んでいる一方で、2020 年 8 月期は訴訟費用が発生しており、2021 年 8 月期は当該訴訟費用の減少が見込まれます。結果として、93 百万円（前期比 1.1%減）となる見通しです。

販売促進費は、主に展示会出展費用であります。年間展示会出展回数とブース面積、ブース設営費用から発生が見込まれる金額を想定して計画を策定しております。2021 年 8 月期の展示会出展は新型コロナ禍の影響もあり 5 回（2020 年 8 月期は 7 回）となり、販売促進費は前期比 23.8%減の 34 百万円となる見通しです。

以上の結果、2021 年 8 月期の販売費及び一般管理費は 601 百万円（前期比 11.8%増）、営業利益は 223 百万円（前期比 98.9%増）を見込んでおります。

なお、2021 年 8 月期第 4 四半期会計期間は、来期獲得を見込んでいる大型案件の準備期間であることや、株式上場費用を見込んだこともあり、営業損失が発生する見通しとなっております。

（4）営業外損益、経常利益

営業外収益については、為替差益 4 百万円等 13 百万円の計上を見込んでおります。

営業外費用については、支払利息 5 百万円等 12 百万円の計上を見込んでおります。

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021 年 8 月 25 日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積り、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

以上の結果、2021年8月期の経常利益は223百万円（前期比120.4%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益については、特許権売却益18百万円と補助金収入3百万円等24百万円を見込んでおります。

特別損失については、見込んでおりません。

法人税等については、利益計画に基づいて法人税等を算出しております。

以上の結果、2021年8月期の親会社株主に帰属する当期純利益は172百万円（前期比150.4%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月25日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。